

平成29年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

<b>事業名</b>	水道の基盤強化方策推進費			<b>担当部局庁</b>	医薬・生活衛生局	<b>作成責任者</b>	
<b>事業開始年度</b>	平成30年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	終了予定なし	<b>担当課室</b>	水道課	水道課長 是澤 裕二	
<b>会計区分</b>	一般会計						
<b>根拠法令(具体的な条項も記載)</b>	水道法			<b>関係する計画、通知等</b>	新水道ビジョン		
<b>主要政策・施策</b>	国土強靱化施策			<b>主要経費</b>	その他の事項経費		
<b>事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	水道の基盤強化を推進するため、都道府県、水道事業者等の各種取組(資産管理、広域連携、官民連携等)の進捗状況を把握するとともに、先進・優良事例の横展開や、地域内の水道事業者等間の連携を促進する。また、取組が停滞している水道事業者等の抱える様々な課題について、要因の分析、水道の基盤強化に資する有効な対応策を検討するなど、水道事業者等の取組の加速化を図る。						
<b>事業概要(5行程度以内。別添可)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後継続的に、水道の基盤強化を推進するために必要な調査・検討等を行う。</li> <li>都道府県、水道事業者等における基盤強化に向けた取組(資産管理、広域連携、官民連携等)の進捗状況の調査、先進・優良事例及び課題の整理</li> <li>都道府県、水道事業者等への基盤強化方策に関する手引き等の情報提供</li> <li>先進・優良事例の情報共有、地域内の連携を図るための都道府県、水道事業者等の懇談会の開催</li> <li>都道府県、水道事業者等の取組の進捗を踏まえ、課題への対応策の検討、方策の追加・見直し等</li> </ul>						
<b>実施方法</b>	委託・請負						
<b>予算額・執行額(単位:百万円)</b>			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求
	予算の状況	当初予算	-	-	-	-	5
		補正予算	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-
		予備費等	-	-	-	-	-
		計	0	0	0	0	5
		執行額	0	0	0	-	-
	執行率(%)	-	-	-	-	-	
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	-	-	-	-	-	
<b>平成29・30年度予算内訳(単位:百万円)</b>	<b>歳出予算目</b>	29年度当初予算	30年度要求	<b>主な増減理由</b>			
	食品等試験検査費	-	5				
	計	-	5				

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 30 年度	
	地域水道ビジョンの策定	地域水道ビジョン策定率	成果実績		%	63.3	67.4	70.4	-	-	
			目標値		%	59.2	61.4	67.8	-	100	
			達成度		%	107	110	104	-	-	
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	厚生労働省医薬・生活衛生局水道課調べ										
横断的な施策に 係る成果目標 及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 34 年度	
	目標・ 指標	上水道の基幹管路の耐 震化	上水道の基幹管路の耐震 適合率	成果実績		%	36	37.2	-	-	-
				目標値		%	36.4	38.1	39.8	-	50
				達成度		%	99	-	-	-	-
国土強靱 化施策	関係	算出 方法	耐震適合性のある管の延 長／全ての上水道事業に おける基幹管路(導水管、 送水管、配水本管の計)延 長								
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	水道の基盤強化のための地域懇談会の開催件数	活動実績		件数	-	-	-	-	-		
		当初見込み		件数	-	-	-	-	4		
単位当たり コスト	算出根拠				単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	単位当たりコスト = X / Y X:「水道の基盤強化方策推進費の執行額」 Y:「水道の基盤強化のための地域懇談会の開 催件数」			単位当たり コスト	百万円/件数	-	-	-	1.3		
				計算式	X/Y	-	-	-	5百万円/4件		
政策評価、経済・ 財政再生 アクション・ プログラムとの 関係	政策	Ⅱ-2 安全で質が高く災害に強い持続的な水道を確保すること									
	施策	Ⅱ-2-1 安全で質が高く災害に強い持続的な水道を確保すること									
	測定 指標	定量的指標				単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 30 年度
		水道事業ビジョン策定状況	実績値		%	63.3	67.4	70.4	-	-	
			目標値		%	59.2	61.4	67.8	-	100	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
	水道事業者等がその事業の理想像や実現方策を示した「水道事業ビジョン」の策定を促進しており、本事業において水道事業者等の先進事例の情報共有や手引き等の情報提供により水道事業ビジョン策定や、策定された当該ビジョンに掲げる実現方策の着実な実施を支援することで、安全で質が高く災害に強い持続的な水道の確保に資する。										
	改革 項目	分野:	社会資本整備等	②地方公共団体による公共施設等総合管理計画の策定促進と、ストック適正化に向けた国の積極的な役割							
	(第一 階層) KPI	KPI (第一階層)				単位	計画開始時 20 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 30 年度
		水道事業ビジョン策定状況	成果実績		%	30	70.5	-	-	-	
目標値				%	30	67.8	74.3	-	100		
達成度				%	100	104	-	-	-		
(第二 階層) KPI	KPI (第二階層)				単位	計画開始時 年度	28年度	29年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度	
	-	成果実績		-	-	-	-	-	-		
		目標値		-	-	-	-	-	-		
		達成度		%	-	-	-	-	-		
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係											
水道事業者等がその事業の理想像や実現方策を示した「水道事業ビジョン」の策定を促進しており、本事業において水道事業者等の先進事例の情報共有や手引き等の情報提供により水道事業ビジョン策定や、策定された当該ビジョンに掲げる実現方策の着実な実施を支援することで、水道施設のストックの適正化が図られる。											

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	本事業は、国民の生活に必要な不可欠な水道の基盤強化を推進し、将来にわたり安全な水の安定供給の維持に資するものであり、国民や社会のニーズが非常に高いものである。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	水道の基盤強化に関する基本的、総合的な施策の策定・推進は国の責務であり、本事業は水道の基盤強化に関する施策であるため国が実施すべきものである。			
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	本事業は、国民の生活に必要な不可欠な水道の基盤強化を推進し、将来にわたり安全な水の安定供給の維持に資するものであり、優先度が非常に高い事業である。			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-				
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無				
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無				
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-				
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-				
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-					
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-					
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-				
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-				
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	所管府省名	事業番号	事業名			
点検・改善結果	点検結果	-				
	改善の方向性	-				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	-	
平成28年度	-					

